

2026 年 7 月 14 日

【ニュースリリース】

ヌビーン・ジャパン株式会社

ヌビーンと CalSTRS、持続可能なインフラ投資に関する 20 億ドルの戦略的パートナーシップを締結

CalSTRS がヌビーンの Energy & Power Infrastructure Credit 戦略における、持続可能なインフラ投資に係るアンカー投資家として参画することで、クリーンで安価かつ安全なエネルギーおよびクリティカルなインフラへの豊富な投資需要に対応

【ニューヨーク、2026 年 7 月 14 日（現地時間）】世界のパブリック及びプライベート市場で約 1.4 兆ドルの資産を運用する資産運用会社であるヌビーンは本日、世界最大の教職員退職年金基金であるカリフォルニア州教職員退職年金基金（California State Teachers' Retirement System、以下「CalSTRS」）との戦略的パートナーシップの締結を発表しました。本パートナーシップにより、CalSTRS はヌビーンの Energy Infrastructure Credit（「Nuveen EIC」）戦略への投資を通じて、持続可能なインフラ分野に最大 20 億ドルの投資を行います。本パートナーシップは、クリーンエネルギー経済を支える重要なインフラ整備に関して、オーダーメイド型の資本ソリューションを提供するものであり、当該取り組みは持続可能なインフラ分野における、画期的なコミットメントを示す事例となります。また同取り組みは、米国及び海外のエネルギー安全保障の強化にも貢献いたします。

CalSTRS は、本パートナーシップの一環として、Energy & Power Infrastructure Credit 戦略における持続可能なインフラ・ポートフォリオのアンカー投資家の役割を担います。また、本パートナーシップは、クリーンエネルギー経済において、重要な役割を担うインフラ資産への将来の補完的な投資戦略においても、CalSTRS がアンカー投資家として参画することが可能な枠組みとなっています。

本パートナーシップの投資対象は、再生可能エネルギー発電、エネルギー貯蔵、産業部門の脱炭素化、エネルギー効率化ソリューション、サーキュラーエコノミー（循環型経済）に係る投資など、持続可能なインフラに関する幅広い分野を対象としています。また、国内製造業の雇用を支える、インフラ・サプライチェーンの国内回帰に関する投資も投資対象としている他、米国および OECD 諸国の経済成長の基盤となることが見込まれる、人工知能（AI）およびデジタル経済に関するインフラ整備への投資も対象としています。

Nuveen EIC のグローバル統括責任者である Don Dimitrievich は次のように述べています。「新たなエネルギー、電力、デジタルインフラへの需要はかつてないほど高まっています。AI の急速な普及、製造業をはじめとする産業のサプライチェーンの国内回帰、そして経済の広範な電化の進展は、新たなインフラ投資に対する大きな需要を生み出しています。プライベート・クレジットは、このインフラ投資に関する資金調達需要に対して、主導的な役割を果たしつつ、持続可能なポジティブな成果も実現できる独自の優位性を発揮できていると考えています。良好なリスク調整後リターンの達成を目指しながら、すべてのステークホルダーにとってエネルギーをよりアクセスしやすく、よりクリーンなものにするべく、地域社会や企業への投資を行う長期パートナーとして CalSTRS と協働できることを大変嬉しく思います。」

CalSTRS にとって、本パートナーシップの投資対象領域となる持続可能なインフラ・クレジットの持つ長期的な特性は、カリフォルニア州の 100 万人超の公立学校の教職員及びその年金受益者に、魅力

的なリスク調整後リターンを提供するという年金基金の根本的な使命と合致しています。また、本パートナーシップにより、ポジティブな持続可能性の成果を促進し、二酸化炭素（CO2）排出量の削減・回避を実現することも目指しています。AI およびデジタル化に関連する米国の電力需要は、2035年までにこれまでの2〜3倍に増加すると予測¹されており、本投資機会は、投資期間やリターン等の運用目標において、インフラ・クレジットとの親和性が高い、長期投資を行う機関投資家の運用ニーズと強く合致しています。さらに、エネルギーへのアクセス及び安全性を向上させる、クリーンかつ重要なインフラの整備を支援する機会も提供します。

¹ Bloomberg NEF（BNEF）“US Regulator’s AI Data Center Rules Nudge Grids Forward”（2026年6月22日）。

CalSTRS のインベストメント・ディレクターである Nick Abel 氏は次のように述べています。「Nuveen EIC との今回の投資は、加入者の安定した老後を支えるという当基金の使命ならびに、長期的な見通しに合致しています。持続可能なインフラ・クレジットは、オーダーメイド型の資本ソリューションのオリジネーションやクレジット分析、そしてストラクチャリングを行うための専門的知見が求められると考えています。また、持続可能なインフラ・クレジットは、高位のリスク調整後リターンの獲得ならびに、よりクリーンで強靱かつ手頃なクリーンエネルギー経済の実現に貢献するという観点から、CalSTRS にとって重要な資産配分先となっています。」²

² 本コメントは、Energy & Power Infrastructure Credit 戦略の現在の投資家より提供されたものであり、その対価として直接的・間接的な報酬は一切支払われておりません。コメントを提供した機関と資産運用会社との関係において、重大な利益相反は存在しません。

CalSTRS の運用実績は、他の顧客の実績を代表するものではなく、将来のパフォーマンスや成果を保証するものではありません。

Nuveen EIC は、クリーンエネルギーおよびインフラ・ファイナンスの分野における有力な投資家として、米国国内のエネルギー・電力需要が高まるこの重要な局面において、高い専門性とクリーンエネルギーの普及加速に向けたコミットメントを有しています。同チームはクレジット・ファシリティの他、ストラクチャリング・デット、優先株式出資等のエクイティ・ソリューションを通じて、柔軟な資金提供を行っています。また、プロジェクトの開発・建設、長期的な保有を支援するため、経営陣やインフラ・エクイティ・スポンサーとのパートナーシップを構築しています。

Media Contact

Andrew Chironna | Andrew.Chironna@nuveen.com | 212-913-1015

ヌビーンについて

ヌビーンはTIAA（米国教職員退職年金／保険組合）グループの一員であり、2026年3月31日時点で世界中の顧客を対象に、パブリック市場およびプライベート市場で総額1.4兆ドル（約222兆円）*を運用する世界的な資産運用会社です。インカム性資産からオルタナティブ資産にわたる幅広い専門知識を有し、企業、不動産、インフラ、ナチュラル・キャピタルなどへの投資を行っており、125年以上の歴史に裏打ちされた信頼性・アクセス力・先見性を顧客に提供しています。私たちは未来に対して確固たる視点を持っており、それが変化する投資家のニーズに合わせてビジネスを進化・刷新していく原動力となっています。こうした取り組みはすべて、顧客・地域社会・世界経済に対して、長期にわたって価値あるパフォーマンスを提供することを目的としています。詳細については、www.nuveen.comをご覧ください。

*日本円ベースの運用資産残高は、Bloombergにて取得した2026年3月末時点の為替レート（1ドル=158.72円）で換算。ヌビーンの運用資産（AUM）には、傘下の投資スペシャリストを含む。

CalSTRS について

CalSTRS（カリフォルニア州教職員退職年金基金）は、連邦社会保障制度の加入対象外となっている100万人以上のCalSTRSの加入者および受給権者に対し、安定した退職後の生活を保障しています。（※カリフォルニア州の教職員はCalSTRSの対象期間中、連邦社会保障制度（ソーシャルセキュリティ）に加入する義務がなく、受給資格也没有ありません。その代替として、CalSTRS自体が退職後の経済的基盤を支える設計となっています。）2024～25年度に退職した加入者の平均勤続年数は24.9年で、月額給付額は5,740ドルとなっています。1913年に設立されたCalSTRSは、2026年4月30日時点の運用資産総額が4,083億ドルに達する世界最大の教職員退職年金基金です。

+++++

本プレスリリースは、いかなる法域においても、有価証券の購入に係るオファー、申し込みもしくは売却の勧誘、または購入もしくは申し込みへの招待、あるいはいかなる議決権の勧誘を構成するものでも、またはその一部を形成するものでもなく、そのような意図を持つものでもありません。

過去の運用実績は、将来の結果を保証するものではありません。

当該戦略への投資には重大なリスクが伴い、投資家が投資元本に対してほとんど、あるいは全くリターンを得られない場合や、投資元本の一部または全部を失う可能性があります。

ヌビーンはその投資スペシャリストを通じて投資ソリューションを提供しています。

上記の記述はヌビーンの見解を反映したものであり、投資パフォーマンスや運用結果を保証するものではありません。プライベート・クレジット投資には次のような重大なリスクが伴います。**流動性リスク**（これらの有価証券は公開市場で取引されておらず、確立されたセカンダリーマーケットも存在しないため、長期間または無期限にわたって保有が必要となる場合があります）、**デフォルト・信用リスク**（借入人またはプロジェクトが元本や利息の支払いを怠る、あるいはデフォルトに陥る可能性があります）、**金利リスク**（金利の変動が投資価値やプロジェクトの資金調達コストに悪影響を及ぼす可能性があります）。サステナビリティに関する目標はあくまでも目指すべき方向性を示したものであり、必ずしも達成されるとは限りません。